

立命館生協 プロジェクトKIFシリーズ#1

第402号



[組織運営]

取り組み概要

日時：8/26(水) 13:00 ~ 17:00
場所：立命館大学衣笠キャンパス
諒友館地下食堂ロッソ
参加者数：計40名

背景や概要：立命館生協衣笠キャンパス、同志社生協今出川キャンパス、龍谷大学生協深草キャンパスの学生委員会が一堂に会し、親睦を深めたり、会員の垣根を越えて企画を考えたりした。

3つの学生委員会がつながり、
拡がる新たな挑戦

POINT.1



5月のエリアセミナーで感じた想いを形に

今回の交流会のきっかけは、5月に開催されたエリアセミナーでした。そのセミナーの後、「せっかく出会えたのだから、何か一緒に形にしたい」という想いを持ったことから、衣笠キャンパスの学生委員がホストとなり、今回の交流会が始まりました。

当日は3つの学生委員会が一堂に会し、親睦を深めながら、これから一緒に取り組める企画について考えました。セミナーで生まれたつながりを一度きりの出会いで終わらせず、「一緒にやってみよう」という気持ちを実際の活動につなげることを目指しました。

POINT.2



お互いを知り、交流することで見つけたワクワク

交流会では、「活動紹介」と「企画を考える時間」の2つのコンテンツを行いました。

活動紹介では、3つの学生委員会がそれぞれの活動内容や取り組みを紹介しました。質問タイムも設け、お互いの活動について詳しく知るとともに、新たな発見も生まれていました。

その後の企画を考える時間では、まず2~3人のグループに分かれ、各大学が抱えている悩みや活動への想いを出し合いながら、「どんなことをしてみたいのか」を考えました。その後班に戻り、それぞれの意見をもとに一つの企画を具体化しました。目的や内容だけでなく、企画日や当日までのスケジュール、役割分担まで決定しました。

学年や大学の垣根を越えて、それぞれの経験や考えを持ち寄りながら、一つの企画をつくり上げていく姿が印象的でした。「一緒にやったら面白そう!」というワクワクが、具体的な形へとつながっていきました。

POINT.3



「1回限り」で終わらせないつながり

この日に考えた企画は「その場で終わり」にはしません。現在、実現に向けて準備を進めています。今回集まったメンバーの想いを一回限りのものにせず、実際の取り組みとして形にするまでがこのプロジェクトです。

また、今回の交流会も一度きりで終わらせるのではなく、これからも継続的に集まり、お互いの活動や想いを共有できる場をつくっていくことを目指しています。学年や大学を越えてつながることで新たな可能性が生まれる、そんなヒントが得られる交流会となりました。

つながる元気、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [上森 友彩美]
Uemori.Yusami@univ.coop